

平成17年6月期 第1四半期財務・業績の概況(連結)

平成16年11月9日

会社名 株式会社メガブレン

(コード番号: 9653 登録銘柄)

(URL <http://www.megabrain.co.jp>)

代表者 役職名 代表取締役社長

氏名 小林 寿之

問い合わせ先 責任者役職名 執行役員 管理本部長

氏名 齋藤 龍二

TEL:(03)3355-2111

1. 四半期財務情報の作成等に係る事項

- 会計処理の方法における簡便な方法の採用の有無 : 有 無
- 最近連結会計年度からの会計処理の方法の変更の有無 : 有 無
- 連結及び持分法の適用範囲の異動の有無 : 有 無

2. 平成17年6月期第1四半期財務・業績の概況(平成16年7月1日~平成16年9月30日)

(1) 経営成績(連結)の進捗状況

(百万円未満切り捨て)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期(当期) 純利益
	百万円 %	百万円	百万円	百万円
17年6月期第1四半期	1,301 (9.0)	169	199	223
16年6月期第1四半期	1,430			
(参考)16年6月期	7,144	402	283	105

	1株当たり四半期 (当期)純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期 (当期)純利益
	円 銭	円 銭
17年6月期第1四半期	1.53	
16年6月期第1四半期		
(参考)16年6月期	0.94	0.92

- (注) 1. 売上高におけるパーセント表示は、対前年同四半期増減率を示しております。
 2. 前年同四半期は売上高のみの開示であるため営業利益、経常利益、四半期純利益、1株当たり四半期純利益、潜在株式調整後1株当たり四半期純利益は記載しておりません。
 3. 当第1四半期の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、1株当たり四半期純損失が計上されているため記載しておりません。
 4. 数値は監査法人による監査を受けておりません。

[経営成績（連結）の進捗状況に関する定性的情報等]

当社は、当連結会計年度（平成 16 年 7 月 1 日～平成 17 年 6 月 30 日）に創立 30 周年を迎えるにあたり、企業イメージを一新し今後大きく発展する企業グループへ変貌をとげるべく、平成 16 年 7 月 1 日に商号を「株式会社ディジットブレン」から「株式会社メガブレン」に変更いたしました。当社グループにおける戦略テーマとして「トータル・ライフプロデューサー」を掲げており、「人々の様々なライフスタイルをサポートし、生活・人生を豊かにするサービス・商品を提案する事業」を創造していきたいと考えております。中でも、連結子会社ホメオスタイル株式会社は、グループの重要な位置を占めており、グループ事業の柱としてさらなる成長・拡大を目指し、アパレル事業に精通したティーケーインターナショナル株式会社を吸収合併する契約を 8 月に締結いたしました。なお、当該契約に基づき、11 月 1 日付けで両社は正式に合併しております。

これらの結果、当第 1 四半期（平成 16 年 7 月 1 日～平成 16 年 9 月 30 日）における業績は、連結売上高は 13 億 1 百万円（前年同期 14 億 30 百万円）となり、営業損失は 1 億 69 百万、経常損失は 1 億 99 百万円、四半期純損失は 2 億 23 百万円となりました。

また、当社グループの事業拡大を積極的に推進しており、新たな展開といたしまして、ライフスタイルの基盤となる「住環境（すまい）」をテーマとした事業を、当社グループ構成のひとつの柱として考えており、当該事業に進出するべく、10 月にエスピーアイ・ホームプランナー株式会社を株式取得により当社子会社といたしております。

（注）前年同四半期においては、連結売上高のみを開示しており、当該項目以外につきましては比較値を記載しておりません。

美容健康事業

美容健康事業は、連結子会社ホメオスタイル(株)及びその子会社（当社孫会社）であります(株)フォリアルにて展開しており、美容機器、化粧品、美容健康食品等の企画製造・販売並びに付随サービスを、全国 40 店舗（加盟店 10 店舗含む）及びインターネットを通じて行っております。ホメオスタイル(株)においては、会員制システムを導入しており、美容機器、化粧品及び美容健康食品等の美を追求した特長ある商品群を販売し、店舗において美容機器を使ったフェイシャルケア及びボディケア等サービスを行っております。また(株)フォリアルにおいては、自社運営の女性向け情報ウェブサイト「womenjapan.com（ウーマンジャパンドットコム）」に寄せられる女性の声を反映した商品の企画・開発及び販売を行っております

ホメオスタイル(株)では、会員規模の拡大が今後の継続的成長の基盤となるため、今春より新入会制度を発足させ会員数の増大を図っており、当第 1 四半期において、入会者数が前年同期比で 145%増加と大幅な伸びを示し順調に推移しております。また、当該期は、美容機器に加え、ダイエット関連を始めとする美容健康食品の強化を推進しました。

この結果、当第 1 四半期における美容健康事業の売上高は 5 億 42 百万円となりました。

服飾品販売事業

服飾品販売事業は、連結子会社のホメオスタイル(株)にて展開しており、女性向け高級衣料品及び宝飾品の催事販売事業を行っております。当該事業は、会員制システムによりメンバーに対し、自社オリジナルデザインによる輸入ファッション衣料及びジュエリー等の宝飾品を、店舗における催事販売形式にて商品提供を行っております。

当第 1 四半期において、2004-05 年秋冬コレクション「グレート ギャッツビー」「ウィークエンドシック」をテーマに、全国店舗において催事販売会を行いました。

この結果、当第 1 四半期における服飾品販売事業の売上高は 3 億 48 百万円となりました。

就職関連事業

当連結会計年度より、従来の事業区分でありました「就職情報提供事業」及び「医療情報提供事業」並びに「その他事業」内の人材紹介事業を統合して「就職関連事業」といたしております。

就職情報提供事業分野におきましては、就職情報ウェブサイト「メガジョブ」及び「メガキャリア」の運営、入社案内やDM（ダイレクトメール）、DVD、ビデオなど採用活動支援ツールの制作、企業セミナーの企画・運営等の採用関連アウトソーシング事業を行っております。当第1四半期におきましては、入社案内をはじめとした採用活動支援ツールの企画提案に注力してまいりました。

医療情報提供事業分野におきましては、医療機関と看護学生及び看護師を結ぶ総合情報サービス事業を行っております。「ナース専科」ブランドを軸として、看護師に関する就職情報業界におきましてトップの地位を築いており、看護学生採用のための情報誌「ナース専科 学生版」「ナース専科 大学版」の発行、看護情報誌「月刊ナース専科」や書籍の発行・販売、看護師・看護学生専用・ウェブサイト「ナース専科.com（ドットコム）」、携帯サイト「ナース専科モバイル」の運営、医療機関のPRツールの企画・制作等といった幅広い情報提供サービスを行っております。当第1四半期におきましては、看護学生のための合同就職説明会「看護フォーラム」を全国5会場で開催し、過去最多の医療機関出展数と業界随一の2千名を超える看護学生の参加数を集め、強力な採用支援サポートを行ってまいりました。

就職関連事業は、事業特性上季節変動要因が極めて大きく、当第1四半期においては、主に営業・提案中心の“種まき”期間となっており、第3四半期以降の売上計上の比重が高いため、その結果、当第1四半期の売上高は2億51百万円となりました。

住宅関連事業

住宅関連事業は、本年10月にエスピーアイ・ホームプランナー(株)の株式取得による子会社化により、新たな事業区分として設けております。なお、当該事業の業績につきましては、第2四半期より同社を連結子会社として取り込む予定です。

その他事業

その他事業といたしましては、エスピーアイ・プロモ(株)におけるインターネット広告の代理業、ホメオスタイル(株)における入会金・年会費等の会費収入、及び(株)フォリアルにおける広告・企画売上によるものであり、当該事業の当第1四半期における売上高は1億58百万円となりました。

(2)財政状態（連結）の変動状況

（百万円未満切り捨て）

	総資産	株主資本	株主資本比率	1株当たり 株主資本
	百万円	百万円	%	円 銭
17年6月期第1四半期	7,119	4,447	62.5	30.41
16年6月期第1四半期				
(参考)16年6月期	7,395	2,643	35.7	22.00

（注）前年同四半期は、連結貸借対照表を作成しておりませんでしたので財政状態の各項目を記載しておりません。

[財政状態（連結）の変動状況に関する定性的情報等]

当第1四半期において、連結除外子会社に対する破産更生債権を、法的整理の進展に伴い貸倒引当金の取り崩しにより消去しております。

当第1四半期末における株主資本は、平成16年7月に転換社債型新株予約権付社債2,000百万円の新株予約権の行使により、全額株式に転換され増加しております。

[参 考]

平成17年6月期の連結業績予想（平成16年7月1日～平成17年6月30日）

	売上高	経常利益	当期純利益
	百万円	百万円	百万円
中間期	5,000	100	250
通期	15,300	350	550

（参考）1株当たり予想当期純利益（通期） 2円93銭

（注）なお、1株当たり予想当期純利益（通期）は、当四半期末における普通株式の発行済株式数（連結）にストックオプションによる新株予約権の行使による増加分及び平成16年10月19日のティーケーインターナショナル株式会社との株式交換による増加分を含めた187,574,319株（平成16年10月31日現在）に基づき算定しております。

[業績予想に関する定性情報等]

当期（平成16年7月1日～平成17年6月30日）の連結業績予想につきましては、当該第1四半期における業績は概ね計画どおりに推移しており、平成16年10月14日付、「固定資産の処分及び業績予想の修正に関するお知らせ」にて発表しております連結業績予想（中間期・通期）に変更はございません。

（注）業績予想については、当社が発表日現在で入手可能な情報に基づき作成したものであり、今後の経済情勢や見通しに内在する不確定要因・潜在的リスク等によって、実際の業績は記載の業績予想と異なる場合があります。

以 上

〔添付資料〕

1.(要約)四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

科 目	当四半期 (平成17年6月期 第1四半期末)	(参考) 平成16年6月期
	金 額	金 額
(資産の部)		
流動資産		
現金及び預金	824,713	1,244,183
受取手形及び売掛金	674,726	757,150
たな卸資産	637,864	434,434
その他流動資産	309,544	285,012
貸倒引当金	31,648	27,952
流動資産合計	2,415,200	2,692,827
固定資産		
建物及び構築物	1,113,525	1,099,260
土地	2,570,000	2,570,000
その他有形固定資産	157,368	162,882
ソフトウェア	339,576	345,355
その他無形固定資産	26,181	26,262
投資有価証券	85,851	85,851
破産更生債権等		809,454
その他投資その他の資産	411,789	412,887
貸倒引当金	115	809,569
固定資産合計	4,704,177	4,702,384
資産合計	7,119,377	7,395,211
(負債の部)		
流動負債		
支払手形及び買掛金	268,922	384,445
短期借入金	248,750	100,000
一年以内償還予定社債		2,000,000
その他流動負債	304,055	421,091
流動負債合計	821,727	2,905,536
固定負債		
長期未払金	1,477,894	1,481,065
その他固定負債	168,819	179,227
固定負債合計	1,646,713	1,660,292
負債合計	2,468,441	4,565,829
(少数株主持分)		
少数株主持分	203,519	186,037
(資本の部)		
資本金	2,023,162	1,008,510
資本剰余金	2,453,006	1,540,718
利益剰余金	17,582	139,545
自己株式	46,334	45,429
資本合計	4,447,417	2,643,344
負債、少数株主持分及び資本合計	7,119,377	7,395,211

2.(要約)四半期連結損益計算書

(単位：千円)

科 目	当四半期 (平成17年6月期 第1四半期)	(参考) 平成16年6月期
	金 額	金 額
売上高	1,301,541	7,144,790
売上原価	509,292	2,975,515
売上総利益	792,249	4,169,274
販売費及び一般管理費	962,038	3,767,073
営業利益(は営業損失)	169,789	402,200
営業外収益	18,692	88,509
受取利息	8	547
不動産賃貸料収入	11,308	46,054
連結調整勘定償却額	3,466	13,498
その他	3,908	28,407
営業外費用	48,726	206,955
支払利息	35,015	137,264
社債利息	131	38,136
その他	13,579	31,554
経常利益(は経常損失)	199,822	283,754
特別利益	17,336	211,312
貸倒引当金戻入益		147,327
固定資産売却益		29,990
その他	17,336	33,995
特別損失	8,374	333,254
固定資産売却損		4,918
固定資産除却損	7,212	71,329
債権放棄損		56,516
投資有価証券売却損		5,110
和解金及び訴訟費用		46,780
債務保証損失		46,632
貸倒損失		36,101
その他	1,162	65,863
税金等調整前四半期(当期)純利益 (は税金等調整前四半期(当期)純損失)	190,860	161,812
法人税、住民税及び事業税	15,540	52,988
法人税等調整額		727
少数株主利益	17,481	4,224
四半期(当期)純利益 (は四半期(当期)純損失)	223,882	105,327

3. セグメント情報

〔事業の種類別セグメント情報〕

当四半期（平成 16 年 7 月 1 日～平成 16 年 9 月 30 日）

（単位：千円）

	美容健康 事業	服飾品販売 事業	就職関連 事業	住宅関連 事業	その他 事業	計
売 上 高	542,820	348,324	251,796	-	158,599	1,301,541
構 成 比	41.7%	26.8%	19.3%	-	12.2%	100.0%

（注）1. 事業区分の方法

事業は、製品及び市場の類似性を考慮して区分しております。

2. 各区分に属する主要な製品

美容健康事業……美容機器・化粧品・健康食品販売、美容関連サービス他

服飾品販売事業……衣料品・宝飾品販売

就職関連事業……新卒就職情報サイト、転職情報サイト、採用個別制作品、看護師向け書籍・雑誌出版販売、看護師向け情報サイト、人材紹介他

住宅関連事業……建築工事業、不動産の取引及びファイナンシャルプランニングに関するコンサルタント業、建築物の設計・監理業務他

その他事業………広告代理業他

3. 当連結会計期間より、新たに「住宅関連事業」を追加しておりますが、これは連結子会社の増加によるものであり、事業区分の変更ではありません。

4. 当連結会計期間より、「就職情報提供事業」、「医療情報提供事業」の区分を統合し、「就職関連事業」としてしておりますが、これは連結子会社の増加により、連結売上高に占める当該事業の割合が低下することが見込まれるため、グループ内の事業の区分の見直しを行ったことによるものです。

また、この見直しにより、従来「その他事業」に属していた人材紹介事業も「就職関連事業」に含めて表示することといたします。

前連結会計年度の事業の種類別セグメント情報を当連結会計年度の事業区分により表示すると以下のとおりであります。

前連結会計年度（平成 15 年 7 月 1 日～平成 16 年 6 月 30 日）

（単位：千円）

	美容健康 事業	服飾品販売 事業	就職関連 事業	住宅関連 事業	その他 事業	計
売 上 高	2,569,694	2,141,926	1,236,703	-	1,196,466	7,144,790
構 成 比	36.0%	30.0%	17.3%	-	16.7%	100.0%

4. その他の注記事項

(重要な後発事象)

(1) エスピーアイ・ホームプランナー株式会社の株式取得

当社は、平成16年10月8日開催の当社取締役会において、エスピーアイ・ホームプランナー株式会社の株式を取得し、子会社とすることを決議いたしました。

趣旨及び目的

当社グループが目指す「トータル・ライフプロデューサー」戦略を一層加速させるためには、エスピーアイ・ホームプランナー株式会社による「住環境(すまい)」関連事業の積極的展開が不可欠であります。そして、当該事業が、早期にグループの大きな収益の柱として確立することにより、さらなるグループ企業価値の創造を図ることが目的であります。

子会社となる会社の概要 (平成16年10月7日現在)

- 1 商号 エスピーアイ・ホームプランナー株式会社
- 2 事業の内容 建築工事業 不動産の取引及びファイナンシャルプランニングに関するコンサルタント業 建築物の設計・監理業務他
- 3 設立年月日 昭和53年4月5日
- 4 本店所在地 愛知県名古屋市中村区名駅南1-18-24
- 5 代表者の氏名 代表取締役 執行役員CEO 北尾 吉孝
- 6 資本金 365,222,234円 (平成16年10月31日現在)
- 7 従業員数 63名
- 8 大株主構成及び所有割合

株主名	持株数	議決権比率
SBI・LB0・ファンド1号	17,977,571株	59.8%
(株)アパマンショップホームプランナー	4,236,929株	14.1%
エスピーアイ・ホームプランナー取引先持株会	3,201,000株	10.7%
ソフトバンク・インベストメント(株)	1,707,143株	5.7%

- 9 発行済株式総数 30,049,113株 (平成16年10月31日現在。以下同じ。)
- 10 決算期 3月31日
- 11 主な事業所 本店(名古屋市)
支店 東京支店(墨田区)、甲府支店(甲府市)、刈谷支店(刈谷市)
- 12 最近事業年度における業績(単独)の動向 (単位:百万円)

	平成15年3月期	平成16年3月期
売上高	4,007	4,742
経常利益	263	84
当期利益	230	89
総資産	1,664	2,083
株主資本	112	292

異動の前後における当社の所有に係る子会社の議決権の数及びその議決権の総数に対する割合

	(異動前)	(異動後)
1 当社所有議決権数	0個	21,061,184個
(当社所有株式数	0株	21,061,184株)
2 議決権の総数	30,049,113個	30,049,113個
(発行済株式数	30,049,113株	30,049,113株)
3 議決権の総数に対する割合	0.0%	70.1%
(発行済株式数に対する割合	0.0%	70.1%)

(2) 固定資産の処分

平成16年10月14日付で、固定資産の処分を決定いたしました。

当社は、本社の土地及び建物を平成14年3月に売却し、その後、同物件の賃貸を受けセールスアンドリースバック取引を実施しておりましたが、この取引に際して優先的に当該不動産を買い戻すことができる権利(「優先買取権」)を保有していたため、金融取引として会計処理を行ってまいりました。

そして、この度、資産の圧縮、財政状態のさらなる健全化を図ることを目的に、当該不動産に関する「優先買取権」を行使しないことを決定し、固定資産の処分を行うことといたしました。

処分対象物件 本社の土地、建物

処分金額 固定資産売却損 2,050百万円